

陳
情
書

英霊塔に準じた慰霊施設の建立を求め



一、陳情の要旨

「ふれあいの里」の敷地内に、英霊塔に準じた慰霊施設を建立していただきますよう陳情いたします。

二、陳情の理由

お国のために殉じた戦没者を弔うため、昭和四十一年十月米子市久米町飯山に建立された英霊塔は、当時、米子市街が一望できる高台で静かな絶好の場所として、戦没者の遺族をはじめ広く市民にも親しまれて参りましたが、戦後六十九年を経た今日では、遺族の高齢化とともに、急斜面の長い石段を登り英霊塔に参拝することが大変困難となり、お国のために尊い命を捧げた御霊に対し、常に敬意と感謝の意を表すことが容易に出来なくなりました。

つきましては、厳しい財政状況下ではございますが、是非とも、「ふれあいの里」の敷地内に、英霊塔に準じた慰霊施設を建立していただき、悲惨な戦争の記憶を後世に語りつぎ風化させないためにも、全市民が、いつでも難なく参拝できるよう格別な御高配をいただきます

よう、お願い申し上げます。

米子市錦町一丁目一三九一三

平成二十六年八月二十八日

(0859) 23, 5490

陳情者 米子市遺族会

会長 生林隆輝



米子市議会議長 渡辺穰爾様